

第1回鉄道ネットワークワーキングチーム 議事概要

1 日 時 平成28年11月22日（火）13時00分～15時00分

2 場 所 北海道庁本庁舎 3階知事会議室

3 出席者

- (1) 座長・委員 岸邦宏座長、石井吉春委員、吉見宏委員、小山俊幸委員、
菊谷秀吉委員、棚野孝夫委員、大立康祐次長（代理）
- (2) 事務局 荒川裕生副知事、渡邊直樹交通企画監

4 概 要

(1) 挨拶要旨

- 先週18日に、J R北海道から事業範囲の見直しに係る具体的な考え方が示されたが、進め方如何によっては、北海道全体の公共交通網に多大な影響があるということを大変危惧している。
- 鉄道は広大な本道において、通院や通学など地域を支える交通として重要な役割を果たしているほか、観光や物流といった面でも欠かすことができない交通手段と考えている。
- このワーキングチームでは、今後数回にわたり道内鉄道網のあり方や課題、対応策について集中的な議論を行っていきたいと考えているので、それぞれの立場から活発な議論をお願いしたい。

(2) 座長選任

- 地域交通検討会議の座長である岸委員が座長に選任された。

(3) 議事1（J R北海道の事業範囲見直しについて）

- J R北海道から平成28年11月18日に公表した「単独では維持することが困難な線区について」資料に基づき、説明がなされた。

(4) 議事2（本道の将来像を見据えた鉄道網のあり方について）

- 事務局から、これまでの地域公共交通検討会議における主な意見などについて、資料に基づき、説明を行った。

(5) 主な意見

- 議事1、2の説明後、委員から以下のような意見が出された。
 - ・ J R北海道の経営状況は厳しいが、廃止前提ではなく、地域にとって必要な交通は何かということ、まずは地域が主体となって議論することが必要。
 - ・ 旅客のみならず、観光や物流、地域づくりといった幅広い観点も含めて、鉄道網のあり方について議論を行っていくことが必要。

(6) その他

- 本日の意見等を基に論点を整理し、第2回鉄道ネットワークワーキングチームにおいて、さらに議論を深めていくことが確認された。